

パスワードルール・二要素認証設定

- 貴校のセキュリティやログインポリシーに合わせて設定を変更してください。
- [パスワードルール・二要素認証設定] 画面で、**セキュリティ**（パスワードルールや認証）に関する設定と、**SSO連携**（GoogleまたはMicrosoftアカウントでのログイン）に関する設定ができます。



初期設定のパスワードルールを確認し、必要に応じて修正をしてください。

パスワードは、初回ログイン時に**先生・子ども本人が設定**します。その際[パスワードルール・二要素認証設定] 画面で設定した、パスワードルールに沿ってパスワードを決定する必要があります。**先生・子どもへログイン情報を配布する前など、事前にパスワードルールをご確認ください。**

- [パスワードルール・二要素認証設定] をクリック

2025年度の設定

アカウント管理 クラス 所属校申請 学校全体設定 アプリごとの設定

パスワードルール・二要素認証設定

教育委員会管理者の場合

- ①の後に以下の手順で学校を選択します。

複数の学校を一括で設定できます。

- ② 設定する学校にチェックを入れる

先頭行（見出し行）のチェックを入れると、すべての学校を選択できます。

アカウント管理 | ベネッセ 小中学校向けサービスの設定・管理

学校選択

学校情報一覧

パスワードルール設定

学校名	学校コード	学校種別
第一ベネッセ小学校	32201502	小学校
第二ベネッセ小学校	32201503	小学校
第三ベネッセ小学校	32201504	小学校
第四ベネッセ小学校	32201505	小学校
第一ベネッセ中学校	33200038	中学校
第二ベネッセ中学校	33200152	中学校
ベネッセ教育委員会	38200021	教育委員会

- ③ [パスワードルール設定] をクリック

すでに学校ごとに異なるパスワードルールが設定されている場合でも、教育委員会管理者アカウントでログインした場合には**初期値**が表示され、設定すると内容が**上書き**されますのでご注意ください。

2 必要に応じて設定

教育委員会管理者の場合

操作の対象となる学校名を必ず確認してください。

対象外 ▶ 下記の場合は設定不要です。

- 外部連携（まなびポケット、L-Gate）でミライシードを利用する場合
- SSO連携（Google、Microsoftアカウント）でログインする場合

ミライシードのID※
でログインする場合のみ ※任意IDを含む

セキュリティに関する設定

パスワードルール

先生、子どものパスワードルールを設定できます。

→ p.3

二要素認証

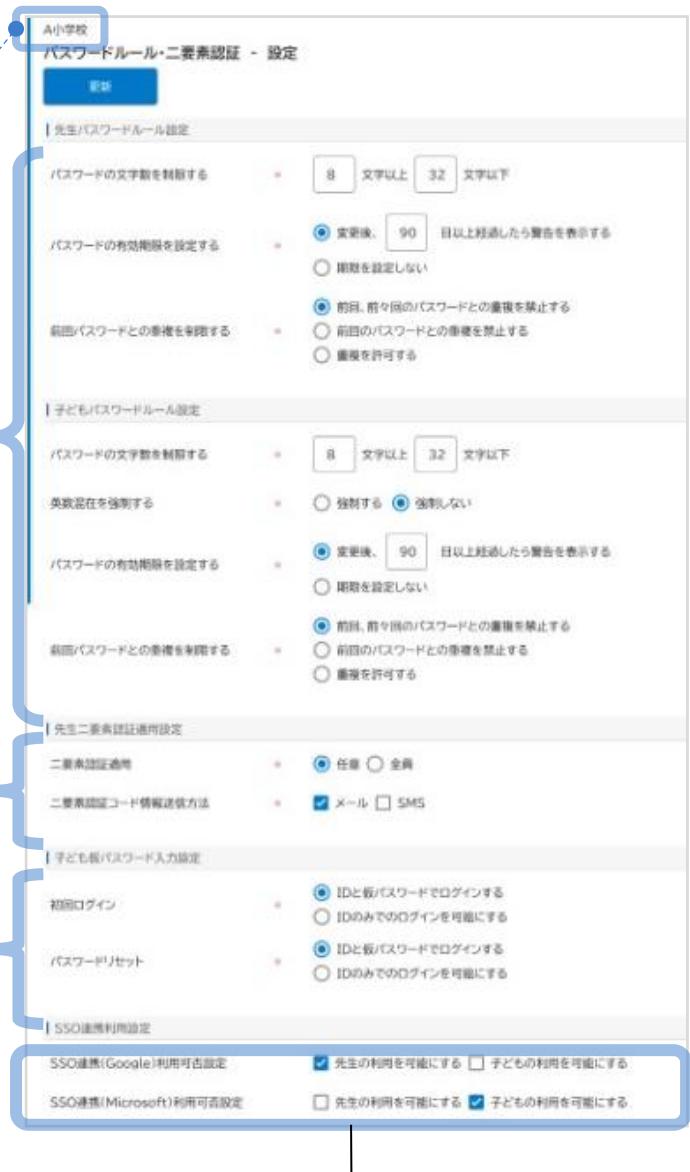
先生がログイン時に、メールまたはSMSで二要素認証できます。

→ p.4

子どもパスワード入力設定

子どもの初回ログインおよびパスワードリセット時に、仮パスワードの入力要否を設定できます。

→ p.5



SSOでログインする場合のみ

SSO連携に関する設定

SSO連携利用設定

SSO連携すると、ミライシードにGoogle、Microsoftアカウントでログインできます。

→ p.6

セキュリティに関する設定

- 先生・子どものパスワードルールや、二要素認証などセキュリティに関する設定ができます。学校のセキュリティポリシーに従ってご設定ください。
- これらの設定は、ミライシードのID（任意IDを含む）でログインする場合のみ影響します。外部連携（まなびポケット、L-Gate）やSSO連携（Google、Microsoftアカウント）でログインする場合は、この設定の影響を受けません。

1 先生・子どもそれぞれのパスワードルールを設定

利用中にパスワードルールを変更しても、
すでにログインしている先生・子どもは利用を現行ルールで継続できます。
(「よくあるご質問」マニュアルの「パスワードルールを途中で変更したら子どもや先生は使えなくなりますか？」もご参照ください。)



先生のパスワードルール設定

	初期値
パスワードの文字数を制限する	8文字以上～32文字以下
パスワードの有効期限を設定する	90日以上経過したら警告を表示
前回パスワードとの重複を制限する	前回、前々回のパスワードとの重複を禁止

子どものパスワードルール設定

	初期値
パスワードの文字数を制限する	8文字以上～32文字以下
英数混在を強制する	強制しない
パスワードの有効期限を設定する	90日以上経過したら警告を表示
前回パスワードとの重複を制限する	前回、前々回のパスワードとの重複を禁止

2 先生の二要素認証を設定

先生のログイン時に、二要素認証の適用範囲と、認証コードの送信方法（メールまたはSMS）を設定できます。

必要な場合のみご設定ください。

二要素認証とは？

ログイン画面でID、パスワードを入力後、事前に登録しておいたメールアドレスまたはSMSに届いた認証コードを入力しないと、ミライシードにログインできないようにする仕組みです。



二要素認証の適用には、
先生本人による操作が必要です。

- 管理者による「パスワードルール・二要素認証設定」画面での設定だけでなく、**先生本人による操作**（認証コードの送信先の登録など）が必要です。
- 二要素認証を適用するための手順は、「**先生情報管理（本人の作業）**」のマニュアルを参考してください。

▼ 本人情報設定 > 二要素認証



■最重要事項（認証コード送付先の登録について）

[パスワードルール・二要素認証設定] 画面で管理者が「全員」を選択した場合、先生ご本人による認証コード送付先の登録は**必須**です。登録がない場合、ログイン時に認証コードの登録・入力画面が表示され、完了するまでログインできません。

■管理者とご本人による設定の適用関係

管理者の設定と、ご本人による設定の組み合わせで、二要素認証が実際に適用されるかどうかが決まります。

▼ 【参考】

管理者による「パスワードルール・二要素認証設定」での設定と、本人による「本人情報設定」での設定の関係

本人による
「本人情報設定」
での設定

◎ 二要素認証を適用する

✗ 二要素認証を適用しない

管理者による「パスワードルール・二要素認証設定」での設定

任意

◎ 適用

二要素認証が適用されます。

全員

◎ 適用

二要素認証が適用されます。

◎ 適用

二要素認証が適用されます。

3 子どもの仮パスワード入力のルールを設定

※「子ども仮パスワード入力設定」が表示されていない場合は、学校ID、ログインコード受領後に表示されるようになります。

子ども仮パスワード入力設定

初回ログイン時	*	<input checked="" type="radio"/> IDと仮パスワードでログインする <input type="radio"/> IDのみでログインを可能にする
パスワードリセット後ログイン時	*	<input checked="" type="radio"/> IDと仮パスワードでログインする <input type="radio"/> IDのみでログインを可能にする

設定項目	初期値
初回ログイン時	初回ログインの際に、仮パスワードを入力せずIDと学校コードでログインできるよう設定できます。
パスワードリセット後ログイン時	パスワードを忘れた子どものパスワードリセット後のログイン時に、仮パスワードを入力せずIDと学校コードでログインできるよう設定できます。

4 [更新] をクリック

SSO連携に関する設定

SSO連携すると、マイライシードにGoogle、Microsoftアカウントでログインできるようになります。

- 1 GoogleまたはMicrosoftの利用可否設定で、SSO連携する対象（先生・子ども）に応じてチェックを入れる

SSO連携(Google)利用可否設定 先生の利用を可能にする 子どもの利用を可能にする

SSO連携(Microsoft)利用可否設定 先生の利用を可能にする 子どもの利用を可能にする

パスワードリセット

SSO連携(Google)利用可否設定
SSO連携(Microsoft)利用可否設定

ID登録でのログインを可能にする
ID登録/パスワードでのログインを可能にする
ID登録でのログインを可能にする

先生の利用を可能にする 子どもの利用を可能にする
 先生の利用を可能にする 子どもの利用を可能にする

- 2 [更新] をクリック

SSO利用可とした場合でも、SSOログインを利用せず学校コード・ID・パスワードでログインが可能です。

先生・子どもそれぞれ個別に設定・メールアドレス登録が必要です。

先生・子どものアカウントを作成する際に、「SSO連携」の設定でGoogleまたはMicrosoftにチェックを入れ、連携用のメールアドレスを登録すると、SSO連携が完了します。 [パスワードルール・二要素認証設定] 画面での設定だけではSSO連携できませんので、ご注意ください。

▼先生・子どもの個別画面



SSO連携設定にあたっての注意点

以下3点が完了していない先生・子どもは、[パスワードルール・二要素認証設定] 画面でチェックが入っていても、SSO連携が適用されません。

- ①パスワードルール・二要素認証での設定
- ②個別画面での利用ON
- ③個別画面でのメールアドレス

また、GoogleのSSO連携を利用される場合は、①の対応と合わせてp.7以降のGoogle Workspace設定も必要です。MicrosoftのSSO連携を利用される場合は、①の対応と合わせてp.10以降のMicrosoft Entra設定も必要です。

GoogleのSSO連携の設定追加

- SSO連携（Google）を利用する場合は、Google Workspaceの設定追加が必要になります。
Google Workspaceの管理者ID・パスワードをお持ちの先生が作業してください。
※設定しない場合、アクセスロックのエラーになる可能性があります。

① Google Workspaceの管理者ID・パスワードでGoogle 管理コンソールにアクセス

URL <https://admin.google.com/ac/appslist/additional>

② トップページ「アプリのアクセス制御」の 「アプリを確認」をクリック

③ 「審査待ちのアプリ」に 「ベネッセのサービス」があるか確認



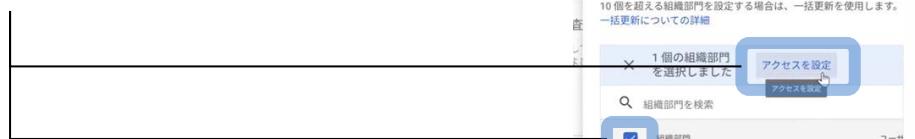
「審査待ちのアプリ」に「ベネッセのサービス」がない場合は、p.8の手順に進んでください。

③で「審査待ちのアプリ」に「ベネッセのサービス」がある場合

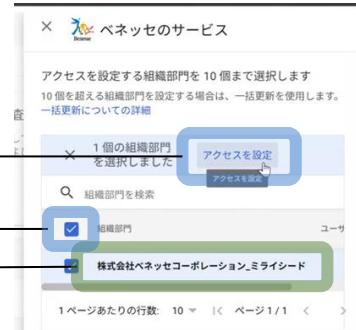
④ 「アクセスを設定」を押す



組織部門をすべて選択し、「アクセスを設定」を押す



この部分は操作対象の組織名が入ります。



p.9の手順に進んでください。

③で「審査待ちのアプリ」に「ベネッセのサービス」がない場合

4 「設定済みアプリ」の「リストを表示」をクリック



「新しいアプリを設定」をクリック



下記のIDで検索し、「ベネッセのサービス」をクリック

ID 112514126103-r5thgbg4tkm7o63bcscunm42a7vk5h2f.apps.googleusercontent.com

IDを入力して、検索

アプリ名 ベネッセのサービス

クリック



p.9の手順に進んでください。

5 「すべてのユーザー」を選択し、「続行」をクリック

この部分は操作対象の組織名が入ります。



6 「信頼できる」を選択し、「続行」をクリック



7 「完了」をクリック



8 「保護者の同意の確認」について「確認」をクリック

9 「設定済みアプリ」に「ベネッセのサービス」があることを確認



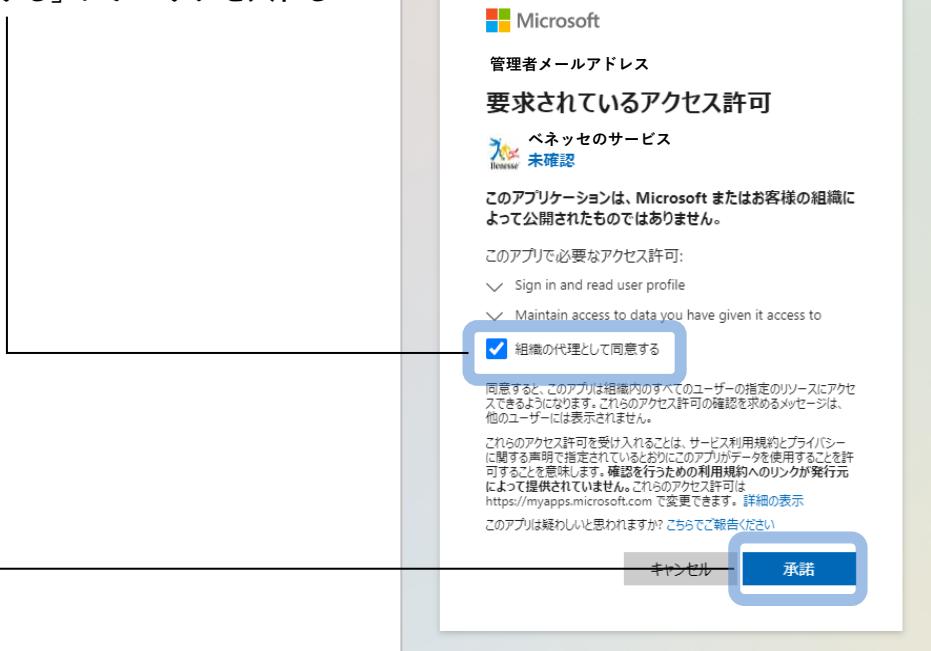
MicrosoftのSSO連携の設定追加

- SSO連携（Microsoft）を利用する場合は、Microsoft Entra管理センターの設定追加が必要になります。**Microsoft Entra管理センターの管理者ID・パスワード**をお持ちの先生が作業してください。
※設定しない場合、「管理者の許可が必要」のエラーになる可能性があります。

- ミライシードログイン画面の
「Office365アカウントでログイン」をクリックし、
Microsoft Entraの管理者ID・PWでログイン



- 「組織の代理として同意する」にチェックを入れる



- 「承諾」をクリック

4 Microsoft Entra管理センターにアクセス

URL <https://entra.microsoft.com>

5 「エンタープライズアプリケーション」>「すべてのアプリケーション」に「ベネッセのサービス」が追加されていることを確認

アプリケーションID 3cafe499-4e03-4ae8-a3c3-9e5d8e7fb9bb



名前	オブジェクト ID	アプリケーション ID	ホームページ URL	作成日	証明書有効期限...	アクティブな証明書...	識別子 URI (エンコード)
ベネッセのサービス	f6960b83-1961-4e...	3cafe499-4e03-4a...	https://www.bene...	2025/12/23			3cafe499-4e03-4e...